

眼 科

【実習目標】

一般目標:

眼科診療の実際を介し臨床医学における眼科学の役割を理解し、眼科的知識・技術を体験する。

行動目標:

1. 視覚障害を理解する。
2. 眼科診療を理解し、自ら病歴聴取を行い、眼科一般検査法を観察・体験する。
3. 一般検査で得られた情報を基に、次に必要な検査または診察のための計画が立案できる。
4. 眼科手術を見学し、手術に対する理解を深める。
5. 手術手技の基本を理解する。
6. 眼科疾患の病態を正しく把握し、総括時にプレゼンテーションができる。

【実習内容】

	8	9	10:00	12	13	17:30 ~ 18:00
月		病棟回診	担当患者の割り当て 患者の入院オリエンテーショ ン		直像鏡、倒像鏡実習	術前カン ファレンス 17:00~医局
火			8:40~ 手術見学		手術見学 終了後 医局にてレポート作成の説明	17:45~ 医局会
水		8:30~ 術後 回診	9:00~ 手術見学		関連病院見学(学生①,②) ①県立広島病院(14:00) ②吉島病院(13:10)	
					レポート作成(学生③,④)	
木		8:30~ 術後 回診	9:00~ 手術顕微鏡実習		関連病院見学(学生③,④) ③広島赤十字原爆病院(12:35) ④安佐市民病院(13:00)	
					レポート作成(学生①,②)	
金			11:00~医局 総括, レポート発表			

【集合場所】(開始5分前に必ず集合のこと)

月	10階東病棟 処置室(8:30)
火	手術室14番(8:40)
水	10階東病棟 処置室(8:30)
木	10階東病棟 処置室(8:30)
金	眼科医局 (11:00)

【注意事項】

- ・ 月曜日は学生自ら散瞳して検査しますので、コンタクトレンズ装用者は、ケースもしくは交換用のコンタクトレンズを持参すること。
- ・ 衣服清潔を旨とし白衣着用のこと。ネームプレートは必ずつけること。
サンダル履きは厳禁。男性はネクタイ着用が原則。
- ・ 患者には丁寧な言葉・態度で接遇すること。
- ・ やむを得ず欠席する場合は、事前にその旨を申し出ること。
- ・ 希望者は時間外診療、緊急手術も見学可能である。
- ・ 無断欠席者、レポート提出のない者は卒業試験を受けられない。
- ・ レポート作成などで使用した患者情報は院外持ち出しを禁じる。
- ・ シラバスを通読しておくこと。

【評価方法】

- 1 手術画像の発表用ファイルへの編集作業を実際に行い指導教官が完成度を評価する。
- 2 担当症例の疾患概念および治療方法の理解は、総括時のレポート発表を基に指導教官が評価する。
- 3 実習期間の実習姿勢、実習態度は、実習ごとの指導教官が積極性を観察評価する。
- 4 行動目標の到達度は、総括時指導教官による各学生へのインタビューにて評価を行う。
評価は、以下のごとく各項目20点の配点で評価を行う。

評価内容と基準	配点
1 手術症例ビデオの編集の完成度	20
2 指導教官による担当疾患概念と治療法の評価	20
3 実習期間の積極性	20
4 行動目標の到達度	20
5 レポート発表時のプレゼンテーション能力	20

- 【担当教**
- ・ 木内良明教授
 - ・ 近間泰一郎准教授
 - ・ 竹中丈二講師
 - ・ 原田陽介助教
 - ・ 奥道秀明助教
 - ・ 戸田良太郎助教

責任者 戸田良太郎助教 教育主任

【緊急連絡先】5247 学生からの連絡方法は、電話連絡のみに限定する。